

1. 目的語と補語

(1) 目的語 「～を」に当たる単語

(場所、時間を示す言葉以外)

主語(S)	動詞(V)	目的語(O)
<u>She</u>	<u>studies</u>	<u>English.</u>
彼女は	勉強する	英語を

(2) 補語 「～に」「～と」に当たる単語の一部

①

主語(S)	動詞(V)	補語(C)
<u>She</u>	<u>became</u>	a <u>teacher</u>
彼女は	なった	先生に

②

主語(S)	動詞(V)	目的語(O)	補語(C)
<u>We</u>	<u>call</u>	<u>him</u>	<u>Ken.</u>
私達は	呼ぶ	彼を	ケンと

注意 補語は正確には前に来る名詞、代名詞を説明、補足する単語

① これは補語を含む文

Tom is a doctor.
トムは 医師です

Tom looked tired.
トムは 疲れて見えた

Tom got sad.
トムは 悲しくなった

He made her a captain.
彼は 彼女を キャプテンにした

② これは補語を含まない文

Tom gave Mary a doll.
トムは メアリーに 人形を与えた

2. 文型・・・英文の骨組みの種類（主語、動詞、目的語、補語の4つの並べ方の種類）

*この4つの要素のほかに修飾語(場所、時間を示す言葉など)が加わって文ができる。

①第1文型：主語＋動詞(SV)

The dog	runs .
犬が(S)	走る(V)

②第2文型：主語＋動詞＋補語(SVC)

		補語(C)
Tom	is	a doctor.
トムは(S)	です (V)	医者に(C)
She	became	a teacher
彼女は	なった	先生に
She	looks	kind (busy)
彼女は	見える	親切に 忙しく
She	got	happy. (sad)
彼女は	なった	幸福に 悲しく

③第3文型：主語＋動詞＋目的語(SVO)

She	studies	English.
彼女は(S)	勉強する(V)	英語を(O)

④第4文型：主語＋動詞＋目的語＋目的語(SVOO) |S + V + 人に + 物を|

I	gave	him	a book.
私は(S)	与えた(V)	彼に(O)	本を(O)

・書き換え

She	taught	him	history.
彼女は	教えた	彼に	歴史を
She	taught	history	to him.
She	bought	him	a book.
彼女は	買った	彼に	本を
She	bought	a book	for him.

(buy と make は for, それ以外は to が必要)

・他に lend(貸す), send(送る), show(見せる) ask(たずねる), tell(話す), make(作る)を使う文で、よくこの形になる。

⑤第 5 又型：主語＋動詞＋目的語＋補語(SVOC)

ア. S＋V＋人を＋名前と

We	call	him	Ken.
私たちは(S)	呼んだ(V)	彼を(O)	ケンと(C)
He	named	her	Mary.
彼は	名付けた	彼女を	メアリーと

イ. S＋V＋ 人(物)を＋状態に

He	made	her	a captain.
彼は	した	彼女を	キャプテンに
He	kept	his room	clean.
彼は	保った	彼の部屋を	きれいに